



諸岡さんのさつまいも



さつまいもは寒さに弱いので、ハウスの中にさらに断熱材で仕切った場所を作り、適度な温度と湿度で保管します。



あえてツルをつけたまま保管することで、芽が出てきても芋ではなくツルから出るそうです。

★紅はるか&シルクの出荷開始です

おかげさま農場のある成田市周辺は、さつまいもの大産地です。「さつまいもは肥えている真土(まつち)よりは火山灰土の赤土の方が良いって言うな。この辺りは赤土だから」と諸岡さんも言うように、土質が合っていることが成田市周辺がさつまいもの大産地になっている大きな理由の1つです。その中で新しい品種が人気です。おかげさま農場設立当初から30年以上に渡ってさつまいもを作ってきた諸岡さんは、長年、金時芋やベニアズマを作ってきましたが、5年ほど前から紅はるかを、今年からはシルクスイートを本格的に作り始めました。紅はるかはとろける甘さと柔らかさが特徴、シルクはその名の通りなめらかな舌触りと甘さが特徴で、共に人気が右肩上がりです。

今年は梅雨と秋が長雨でしたが、例年より量は穫れたそうです。ただ、その美味しさは虫や獣も大好き。芋が土の表面に出しまうと鳥のキジがつつき、土の中ではネズミやコガネムシがかじったりと多かれ少なかれ被害は出ます。またキュウリと同じで大きさや曲がりも出てきますが、それを1本1本選別する手間も一苦労。「見た目が良いのは選別しているから綺麗なんだよ。今年はコガネムシは少なめだけど、まあ、どれだけ被害が出るかは毎年作ってみないとわからないよ。毎年、勉強だな」

栽培に適した土と長年の栽培経験に裏打ちされた諸岡さんの紅はるかとシルク、どちらも一口食べればほっぺたが落ちますよ♪

おかげさま農場は「食は命」をテーマにしています。化学合成農薬や化学肥料を使わないことを基本としています。

【産地情報】

◎キャベツと人参は11月14日(土)から出荷開始となります。